



SGH課題研究「グローバル課題4領域について知り、気づき、探る学習」

ーグローバル課題4領域の概要を知り、その現状や課題に気づき、解決策のヒントを見つけるー

「SDGs」編

● 開催概要

時限数	テーマタイトル	ねらい
第1回 1時限	グローバル・イシューと世界の持続可能性	グローバル課題研究Aをふりかえり、このままでは持続不可能な課題のある社会であることを確認する。
第2回 1時限	持続可能な開発目標(SDGs)とは何か ーMDGsとSDGsー	SDGsとMDGsとのつながりや内容について知り、背景には持続不可能な社会があることに気づく。
第3回 1時限	SDGs17のゴールについて理解を深める ー身近な問題とSDGsー	SDGsの具体的な内容を知り、途上国と日本の課題の共通点と相違点を理解し、関心を持つ。
第4回 1時限	2030年のゴールを達成するための ポジティブ・アクション	SDGs17のゴールを達成するために必要なことを多角的に考え、手立ては多様にあることに気づく。
第5回 1時限	持続可能な社会を創るソーシャル・アクション ーアクションするから社会が変わるー	望む社会の実現には、一人ひとりの行動(問題解決への取り組み)が不可欠であることを理解する。

◆ 学習のねらい

- ① 2030年に向けた世界共通のゴールであるSDGsについての理解を深める。
- ② 社会(グローバル/ローカル)の現状と、17のゴールのギャップを確認する。
- ③ SDGs達成には何が必要か、自分たちのこれからの生き方に照らしながら多角的に考える。

◆ 参加者: 国際コース1年生(計22名)

◆ 場 所: 中部大学春日丘高等学校 北校舎4階1年9組教室

当日の流れ

- ①SDGs17のゴールを達成するためにはどうしたらいいか、ワールド・カフェ方式で話し合う
- ②SDGs2030年までにゴールを実現するための手立て7つを学ぶ
- ③「目標を達成するために役立つこと・必要なこと・できること」を「目標達成のための7カ条」として7つにまとめる

■ 「SDGs」とは

17の目標からなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。

◇持続可能な開発目標(SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけている運動。

■ 「ワールドカフェ」とは

- ・「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法。
- ・1995年にアニータ・ブラウンとデイビッド・アイザックスにより開発提唱された。

■ 「ワールドカフェ」の特徴

- * 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う。
- * 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感が味わえる。
- * メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる。
- * 参加者数は12人から、1,000人以上でも実施可能。



■ 生徒の感想

- ・違うテーマ（生態系、教育、平和、ワークライフバランスと生活の質の向上）をそれぞれの班で考えた後に、メンバーを変えて話しあってみると、テーマが違ってても繋がる部分が多くありびっくりしました。
- ・生態系のテーマでの支援系を分ける時、やり方によってどの項目も実現できることが分かった。やはり「しくみ系」が多かった。
- ・自分や日本、世界には何が得意・不得意かを見つめ直し、立ち上がっていくことが必要だと思った。「3R」は私の中で「ゴミぶくろ」や「服」などしかイメージがなかったけど、先生の話で、「残飯」など他にもいろいろ「3R」ができることがわかった。
- ・「教育」はよく耳にする言葉でも、よく考えてみると、答えがすんなりと出ないものだなと思った。そしてなにより「子供が受ける教育」、「大人の受ける教育」、いろいろなものがあって面白いと思った。



- ・自分がどうやって社会に貢献したいかをきちんと決めることが重要だと思った。
- ・自分や日本、世界には何が得意・不得意かを見つめ直し、立ち上がっていくことが大事。
- ・これからSGHの授業を通じて様々な知識を身に付け、社会で役に立ちたいと強く思った。
- ・まだ高校生だからできないこともあるけど、自分に今できることをしっかり考えて行動できる人になろうと思いました。
- ・支援する側もされる側もWin-Winの関係を築いていく事が重要だと思った。